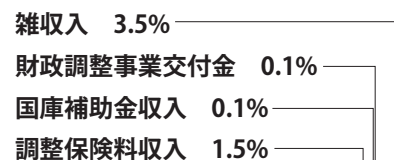


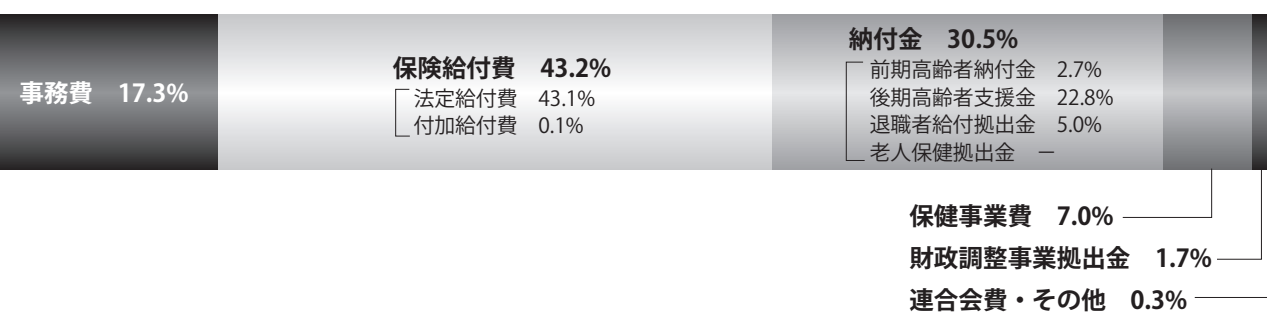
平成23年度決算 収支の割合 (一般勘定)

収入



健康保険収入 94.8%

支出



平成23年度収入支出の決算概要

介護勘定

●収入

科 目	決算額	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額
介護保険収入	1,558 万 5 千円	81,597 円
繰入金	46 万 7 千円	2,445 円
雑収入	2 万 2 千円	115 円
合 計	1,607 万 4 千円	84,157 円

●支出

科 目	決算額	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額
介護納付金	1,528 万円	80,000 円
合 計	1,528 万円	80,000 円

一般勘定

●収入

科 目	決算額
健康保険収入	2 億 1,693 万 2 千円
調整保険料収入	349 万 3 千円
国庫補助金収入	11 万 5 千円
財政調整事業交付金	11 万 2 千円
雑収入	815 万円
合 計	2 億 2,880 万 2 千円

●支出

科 目	決算額
事務費	3,527 万 9 千円
保険給付費	8,785 万 2 千円
法定給付費	8,774 万 6 千円
付加給付費	10 万 6 千円
納付金	6,208 万 4 千円
前期高齢者納付金	549 万 9 千円
後期高齢者支援金	4,634 万円
退職者給付拠出金	1,024 万 3 千円
老人保健拠出金	2 千円
保健事業費	1,419 万円
財政調整事業拠出金	349 万 2 千円
連合会費	44 万円
その他	7 万 5 千円
合 計	2 億 341 万 2 千円

健康な生活習慣を実践しましょう



平成23年度

収支決算まとまる

保険給付費と納付金の減少により、黒字決算に

健康保険

政府・与党は、年金、医療、介護の分野の改革を進めるとして「社会保障と税の一体改革」関連法案を、開会中の国会へ提出。6月下旬に衆院において採決され、参院へ送付されました。しかし、全国の健保組合が切望している高齢者医療制度改革、とりわけ前期高齢者医療制度への公費投入等については具体的な内容や道筋が明確になっていません。

全国の健保組合の財政は、高齢者医療制度を支えるための納付金負担が始まった平成20年度から、急速に悪化しています。高齢化が進む今後は、いっそう厳しい財政運営となることは避けられません。公平に高齢者医療制度の負担を支える制度設計が求められています。

当健保組合の平成23年度決算状況につきましては、黒字で終わることができました。

収入面では、被保険者数は、ほぼ前年度並み、平均標準報酬月額が微増、総標準賞与額も若干増加しました。

介護保険

健康保険収入は前年度より26万5千円少ない2億1693万2千円でした。国庫負担金収入を除いた保険料は、一人当たりでは931円増加しました。

一方、支出面では、皆さんの医療費や一時金などに充てられる保険給付費は、前年度より290万4千円少ない8785万2千円でした。

また、高齢者医療制度を支える財源として負担している納付金は、前年度より860万6千円少ない6208万4千円でした。

保健事業費には、ほぼ前年度並みの1419万円を執行して、特定健診・特定保健指導などを実施しました。

以上のように、保険給付費と納付金の減少により、平成23年度決算は黒字で終わることができました。

介護勘定の収入支出決算総額は、収入1607万4千円、支出1528万円、差引額は79万4千円でした。

平成23年度の事業報告および収入支出決算報告が、7月12日に開催された第53回決算組合会において承認されました。そのあらましをお知らせいたします。